



宮城ニチモウぎんざけ養殖の概要

(認証番号：JFRCA41702A)

宮城ニチモウぎんざけ養殖の概要

基本情報	
対象者	にちもうまりかるちゃー ：株式会社ニチモウマリカルチャー
代表者	あおき しんや ：代表取締役社長 青木 信也
対象者所在地	みやぎけんいしのまきしさかなまち ：宮城県石巻市魚町 1-29-3
養殖魚種	：ギンザケ
養殖方法	：小割生簀養殖法
養殖漁場	みやぎけんおがつわん・おながわわん ：宮城県雄勝湾・女川湾地先
対象養殖業者	：6 経営体



ニチモウぎんざけ養殖のポイント

- 漁協や県と連携し、漁場改善計画、漁場環境調査に協力するとともに、持続的な生産のため周辺環境への配慮に努めている。
- 生産者の会を設け徹底した飼育管理、記録を行い、安心安全なギンザケを安定的に生産。
- 独自ブレンドの餌を一括管理し毎日生産者に配布することで、一定の品質を確保。
- 独自開発の生き〆方法により、作業効率アップと、高鮮度、高品質のギンザケを出荷。

【周辺環境への配慮と情報収集】

ニチモウマリカルチャーでは、持続的な養殖活動を行うため、また周辺環境への配慮から、漁協の実施している漁場環境調査や漁場利用状況調査に協力、また漁場の水質・底質等の漁場の情報を大学、県などから積極的に収集し、その上でいけす配置や飼育密度を決定するなどしている。ニチモウマリカルチャーでは年間1,127トンのギンザケを生産している（2016年度）。

【安心安全なギンザケ供給のための仕組み】

1) 生産者の会の設置

ニチモウマリカルチャーのギンザケは複数の生産者により生産されているため、生産者の会を設置し、定期的な情報交換、ニチモウマリカルチャーのギンザケ専属担当による各いけすの巡回、環境情報の共有や技術指導を行っている。

2) 生産マニュアル、生産及び加工の手順書の作成

複数の生産者が統一した品質のギンザケを生産するため、生産マニュアル・作業手順書、加工の手順書を作成し、それに沿って養殖活動を行っている。手順書の適用範囲は作業機器、飼料の管理にまで及ぶ。



3) 記録の一括管理

各生産者はいけすごとに飼育魚の様子を記録し、ニチモウマリカルチャーでデータベース化して管理している。このように、作業手順の明確化、記録の一斉管理を行うことで、生産履歴の明らかな安心なギンザケ養殖に努めている。

4) 導入する種苗から管理

種苗は複数の業者から購入しているが、ニチモウマリカルチャーでは種苗生産マニュアルを作成、また発眼卵購入先孵化場の環境条件や卵管理の履歴は「種苗履歴確認書」の記録により管理し、卵から加工まですべての生産段階での生産履歴が明確化されている。



【品質向上のための取り組み】

1) 独自ブレンドの餌

ニチモウマリカルチャーではギンザケ養殖用の独自ブレンドの餌を与えており、これによりギンザケの旨みと色味が増し、肉質が向上した。餌は原則毎日、必要量が生産者に配送されるため、安定した品質のギンザケを供給することができる。

2) 独自開発の活き〆方法

通常は氷水に生きたまま入れ活殺する方法で水揚げする「野〆」(写真左)が行われているが、ニチモウマリカルチャーでは独自開発した『活〆(血抜き処理した水揚げ方法)』を用いることで、作業効率があがり、またより鮮度の良い状態での水揚げが可能である。

